



湖 議 第 150 号
令和 4 年 11 月 21 日

湖西市議会議長
馬場 衛 様

議会活動推進特別委員会
委員長 佐原 佳美



議会活動推進特別委員会からの提案について

本特別委員会での調査研究をした結果、以下の内容について、次年度に向けて早期に検討すべきであるという結論に至ったため提案いたします。

記

1. 議会の事業評価の実施と予算決算審査サイクルの構築について

議会基本条例に規定される「市の執行機関を監視・評価する」という責務を果たし、議会機能の強化を図るため、決算審査と議会の事業評価の実施により、議会の意見を次年度予算編成や市の施策に反映させていくことを目的とする。

実施に当たっては当局との十分な調整と理解のもとに実施していただきたい。

内 容：別紙のとおり

取組時期：R 5 年度試行と検証、R 6 年度本格始動

以上



議会の事業評価・予算決算審査サイクルの 基本的な考え方

●目的

- ・議会の行政評価・監視機能の強化
- ・議会の事業評価と決算審査を次年度予算編成に連動させる。
- ・議決事項である市の基本構想（総合計画）の進行状況をチェックし議会としての責任を果たす。
- ・市の事業について議会としての評価を加えることにより、課題の共有、事業改善に役立てる。

●流れ ※全体の体系図は別紙1参照



事務事業評価の公表（当局）

当局の事務事業評価の点検（議会側が各自にて全事業の点検）

決算審査（決算特別委員会）

当局の事務事業評価を参考に委員による決算審査を行う。

New

※これ以降新に作業追加となる部分(黄色枠部分)

①議会の評価対象事業の抽出（各常任委員会）

決算委審査において事業評価との差異等がある事業を常任委員会ごとに抽出（1～5事業）。

※試行段階では当局の事務事業評価の個票があり、かつ評価対象事業（事業費1,000万円以上）を議会の評価対象事業としたい。

②当局ヒアリング（各常任委員会）

- ・抽出事業について事務事業評価シートだけでは読み取れない事務事業評価結果に対する当局の考え方を確認。

New

9月末～
10月上旬

10月中旬

2月下旬

翌年度以降

③ 議会の評価の実施・提言案作成（各常任委員会）

- ・各常任委員会において評価調書(別紙2)を作成。
※正副委員長が委員の意見を集約し、評価を出す。
【評価の視点：市民目線、費用対効果】
- ・市の**新年度予算編成方針を加味**して提言案までまとめあげる。

④ 提言書の確認（議員全員協議会）

- ・各常任委員会からでてきた提言案を全議員に諮り、協議の上提言書をまとめる。

⑤ 予算反映のための提言書を市長へ提出（議長名）

- ・当局へ議長名で次年度予算に反映してもらうよう提言書を提出。
※期限は10月中旬。

⑥ 提言反映状況の確認（予算説明会）

- ・予算説明会において10月の提言についてどう次年度予算に反映させたかを当局から説明を受ける。

⑦ 事業進捗・予算執行状況の確認（各常任委員会）

- ・6月以降、予算執行・事業の進捗状況を定期的に確認。
- ・PDCAサイクルの確認と調査 など

● 検討依頼事項

- ・ R 5 年度試行、R 6 年度運用開始に向けて、当局との事前調整・議会側の体制準備。
- ・ 議会の事業評価方法（評価基準の設定の要否、複数の細事業で構成されている事業の評価方法、様式等、試行により改善、検討を要す。）

など

